

Cisco Unified Communications製品の権限昇格の脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-cucm-
kkhZbHR5

[CVE-2025-
20112](#)

初公開日 : 2025-05-21 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [5.1](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwj78215](#) [CSCwj78214](#)

[CSCwj78213](#) [CSCwi52980](#) [CSCwj78212](#)

[CSCwj78211](#) [CSCwj78210](#) [CSCwj78219](#)

[CSCwj78217](#) [CSCwj78216](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

複数のシスコユニファイドコミュニケーションおよびコンタクトセンターソリューション製品における脆弱性により、認証されたローカルの攻撃者が、該当デバイスでルートとして特権を昇格する可能性があります。

この脆弱性は、systemコマンドに割り当てられている過剰な権限に起因します。攻撃者は、基盤となるオペレーティングシステムで巧妙に細工されたコマンドを実行することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は制限付きシェルをエスケープし、該当デバイスの基盤となるオペレーティングシステムでルート権限を取得できる可能性があります。攻撃者がこの脆弱性を悪用するには、ESXiハイパーバイザへの管理アクセスが必要です。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-kkhZbHR5>

該当製品

脆弱性のある製品

公開時点では、この脆弱性はデバイス設定に関係なく、次のシスコ製品に影響を与えていました。

- Customer Collaboration Platform(CCP)、旧称SocialMiner([CSCwj78211](#))
- Emergency Responder([CSCwj78216](#))
- Finesse([CSCwj78215](#))
- Prime Collaboration導入([CSCwj78212](#))
- Unified Communications Manager(CM)([CSCwi52980](#))
- Unified Communications Manager IM & Presence Service(IM&P)([CSCwj78217](#))
- Unified Communications Manager Session Management Edition(CM SME)([CSCwi52980](#))
- Unified Contact Center Express(CCX)([CSCwj78214](#))
- ユニファイドインテリジェンスセンター([CSCwj78210](#))
- Unity Connection([CSCwj78213](#))
- Virtualized Voice Browser([CSCwj78219](#))

このアドバイザリの公開時点で脆弱性が存在するシスコソフトウェアリリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

脆弱性を含まないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクション](#)にリストされている製品だけがこの脆弱性の影響を受けることが知られています。

シスコは、この脆弱性が以下のシスコ製品には影響を与えないことを確認しました。

- Packaged Contact Center Enterprise (CCE)
- Unified Contact Center Enterprise (CCE)
- Unified Contact Center Domain Manager (CCDM)
- Unified Contact Center Management Portal (CCMP)

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、[シスコセキュリティアドバイザリページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に

確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

修正済みリリース

公開時点では、次の表のリリース情報は正確でした。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

左側の列にはシスコソフトウェアリリース、右側の列にはリリースがこのアドバイザリに記載されている脆弱性の影響を受けるかどうか、およびこの脆弱性に対する修正を含むリリースが示されています。

ユニファイドコミュニケーション製品 : Emergency Responder、Prime Collaboration Deployment、Unified CM、Unified CM SME、Unified IM&P、Unity Connection

シスコソフトウェアリリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)
12.5(1)	修正済みリリースに移行。
14	修正済みリリースに移行。
15	15SU2

コンタクトセンターソリューション製品 : Customer Collaboration Platform、Finesse、Unified CCX、Unified Intelligence Center、Virtualized Voice Browser

シスコソフトウェアリリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)
12	修正済みリリースに移行。
15	脆弱性なし

シスコの Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正済みリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

出典

この脆弱性を報告していただいたセキュリティ研究者のPat Barnhill氏に感謝いたします。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-kkhZbHR5>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2025年5月21日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。